

こばやし健幸づくり推進企業を募集中です！



「こばやし健幸づくり推進企業」を随時募集しています。申請方法についてはお気軽に企画政策課健康都市推進グループ（Tel 23-0456）にお尋ねください。

市ホームページや広報紙で、従業員などの健康づくりに積極的に取り組む企業としてPRします

健康づくりに役立つ情報や市主催の健康イベントなどの情報を紹介します

従業員などの健康づくりに取り組むための補助制度を活用できます

対象企業 市内に住所を有する企業や法人、団体
※申請・認定は雇用保険適用事業所単位です

認定要件 必須項目に取り組み、さらに選択項目のうち1つ以上に取り組む

必須項目

☐ 健診の受診率 100 ٪に向けた取り組み

選択項目

- ☐ 保健指導の利用率向上に向けた取り組み
- ☐ 各種がん検診の受診率向上に向けた取り組み
- ☐ 食生活の改善に関する取り組み
- ☐ 運動機会の増進・運動習慣定着に関する取り組み
- ☐ 受動喫煙対策に関する取り組み
- ☐ 適正飲酒の推奨に関する取り組み
- ☐ 歯科健診の受診率向上に向けた取り組み
- ☐ 口腔ケアの推奨に関する取り組み
- ☐ メンタルヘルス対策に関する取り組み

申請・認定の流れ

- 1 申請書の提出**
所定の様式に必要事項を記入し企画政策課へ提出
- 2 内容の審査**
申請内容を審査し、認定の適否を判定
- 3 認定証を交付**
認定された企業・団体に認定証を交付
- 4 認定企業の公表**
企業・団体名や取り組み内容を広く市民に周知

Check!!

こばやし健幸づくり推進企業補助金

認定を受けた企業・団体に対し、従業員やその家族を対象として行う健康づくりの取り組みに要する経費の一部を補助します。なお、補助金交付を希望する場合は、認定後に別途申請が必要です。詳しくは市ホームページ（右の二次元コード）を確認するか、企画政策課へ問い合わせください。



健康づくり推進事業補助

健康に関するセミナーや講演会の開催などに要する経費の3分の2相当を補助。（1交付対象者につき1回、上限額7万5千円）

健康管理機器等導入促進事業補助

血圧計や体重計など健康づくりに効果的と認められる健康管理機器などの導入に要する経費の2分の1相当を補助。（1交付対象者につき1回、上限額5万円）



従業員健康づくりに取り組む企業・団体を応援！ こばやし健幸づくり推進企業

従業員の健康管理について、経営的な視点で考える企業などが増えています。今回の特集では、市が実施する「健幸づくり推進企業認定制度」の紹介や、認定企業として従業員の健康づくりに取り組む企業・団体を紹介します。

●問＝企画政策課 Tel 23-0456

健康に働き続けられる環境づくりで持続可能な企業・団体へ

少子高齢化や人口減少などの時代の大きな変化にあわせてこれまでの働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進することが叫ばれるようになりました。

そのような状況の中で、従業員の健康管理を経営的な視点で考える企業などが増えています。

従業員が健康でいきいきと働き続けられる環境づくりを進めることは、従業員の活力向上や生産性の向上、人材の定着率向上につながり、結果的に持続可能な企業・組織の成長にもつながります。

「こばやし健幸づくり推進企業」の認定を行っています

市では、「健幸のまちづくり」の一環として、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組む企業・団体を「こばやし健幸づくり推進企業」として認定し、その取り組みを支援しています。

認定を受けた企業・団体に対しては、市ホームページや広報紙こばやしなどでその取り組みをPRするほか、健康づくりに役立つ情報

従業員の健康づくりに取り組むメリット



などを提供。また、従業員の健康づくりに取り組むための補助制度を活用できます。

現在、市内24の企業・団体が推進企業の認定を受けています（令和7年3月現在）。認定企業は随時募集中です。一緒に従業員の健康づくりに取り組んでみませんか。



お話を聞きした
ながやま りえ
永山 理恵 総務課長



健康づくりに取り組む

認定企業を取材しました

認定企業第5号（令和3年度認定）



小林商工会議所

宮崎県小林市細野 1897 番地 TENAMU ビル2階
TEL 0984-23-4121

健診受診率 100%

各種がん検診受診率向上

保健指導利用率向上

運動機会増進・運動習慣定着



認定企業第4号（令和3年度認定）



有限会社西日本ボーリング

宮崎県小林市細野 4897 番地 1
TEL 0984-23-6917

健診受診率 100%

適正飲酒の推奨

受動喫煙対策

歯科健診受診率向上



お話を聞きした
なかじま さゆりさん
たけの なぎさ
竹野 渚 さん



写真① 職員の健康増進のため「こばやし健幸づくり推進企業補助金」を活用し導入したホットアイマスクやマッサージ器など

写真② 事務所が入るTENAMUビル内の計測ステーションで血圧を測定する職員

「健診のおかげで命が助かった」
受診で大動脈瘤が見つかった職員も

健康診断では、受診する病院や追加するオプション検査について各職員の希望を聞き、担当者がまとめて予約しています。

昨年は、腹部エコー検査で「大動脈瘤」が見つかり急遽入院・手術した職員も。自覚症状はなかったものの約6センチのコブがあり、いつ破裂してもおかしくない状況だったようです。本人も「生きた心地がしなかった。健診のおかげで命が助かった」と話しています。

また、他県の商工会議所の取り組みを参考に、費用の一部を会社が負担して唾液からがんのリスクを調べる検査をほぼ全員が受けました。唾液を送るだけで6種類(男性5種類)のがんのリスクを知ることができ、次回のがん検診受診への意識付けにつながりました。

健康器具利用や血圧測定などで健康維持や体調管理に取り組む

仕事はデスクワークが中心です。そのため肩こりや目の疲れからくる頭痛や、腰痛に悩まされる職員もいます。そこで「こばやし健幸づくり推進企業補助金」を活用し、ホットアイマスクや、首や肩のマッサージ器、ぶら下がり健康器を導入しました。始業前や昼休み時間に活用し、健康維持に役立てています。

また、「こばやし健幸ポイント」にも全職員が参加しており、参加費は福利厚生の一環として会社で負担しています。事務所のあるT



写真③ 会社で購入した血圧計。こばやし健幸づくり推進企業の認定を受ける以前から従業員の健康管理に取り組んでいます 写真④ コロナ禍の令和3年に「こばやし健幸づくり推進企業補助金」を活用し導入した検温器

人間ドックのを全員受診でがんを超早期発見できた従業員も

「こばやし健幸づくり推進企業」に認定される以前から、胃カメラやMRI検査などのオプションを付けた人間ドックを、20代以上の従業員全員が会社負担で受診しています。

現代は人手不足の時代です。今働いている人を大切に、健康でいてもらうことで、現場がまわりの会社の経営が成り立ちます。

昨年は、人間ドックでがんを超早期発見できた従業員もいます。一昨年の受診ではがんは発見されませんでした。毎年受診しているのおかげで無事に発見・切除手術につながり、現在では元気に働いています。

健幸ポイントへの参加や
歯科健診受診率向上へも取り組み

会社として「こばやし健幸ポイント事業」にも参加しています。少しでも歩数を稼げるように意識して行動するようになりました。参加している従業員同士で歩数を競うことでコミュニケーションのきっかけにもなり、楽しみながら参加しています。

また、適正飲酒の推奨の取り組みとして出勤時に呼気検査を実施したり、受動喫煙対策として分煙の徹底にも取り組んでいます。

さらに、令和6年度からの新しい取り組みとして、歯科健診も会社負担で無料で受診できるようにしました。大人になるとなかなか自分から歯医者を受診する機会



たづめ じゅり
田中 樹里 さん

小さな積み重ねで歩数を稼いでいます

こばやし健幸ポイントに全職員が参加しており、ランキングを見てお互いに歩数を競い合ったりしながら参加しています。職場の外に出るときには歩いて目的地に行ったりするなど、小さい積み重ねではありますが歩数を稼いでいます。また、食事の際にはカロリーに気を付け、野菜を中心に取るようにしています。今後も規則正しい食生活を心掛けていきたいです。

Interview

ENAMUビル2階には計測ステーションがあるため、出勤してきた際に血圧や体重を計測することが日課になっている職員もいるなど、健幸ポイントへの参加がきっかけとなって健康の維持や体調管理につながっています。



代表取締役
よこやま たかひろ
横山 剛広 さん

減量した今の体重を維持したい

人間ドック受診後の保健指導がきっかけで、昨年減量に取り組みました。夕食に必ず野菜を一品入れるなど野菜を多く食べることを意識する、間食をしない、砂糖やミルクを入れて飲んでいたコーヒーを炭酸水に替えるなど約半年取り組み、目標体重を達成することができました。以前と比べると体が軽くなった感じがします。今年の人間ドックに向けて、体重を維持したいと思います。

Interview

がないため、歯科健診が良いつかけになっています。令和6年度の受診率は約8割。令和7年度は歯科健診受診率100%を目指したいと思っています。

令和6年度に新たに「健幸づくり推進

企業」に認定された企業を紹介します





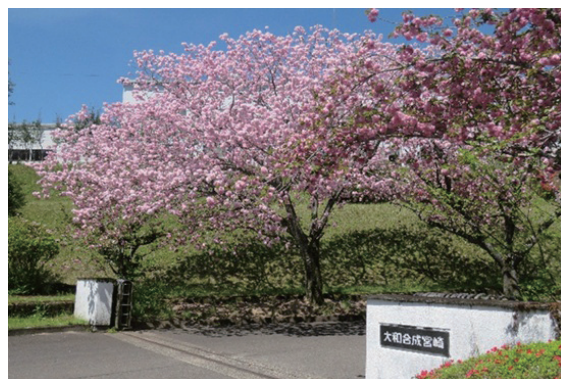
株式会社大和合成宮崎
宮崎県小林市須木奈佐木 3951 番地
TEL 0984-48-3400



健診受診率 100%

運動機会増進・運動習慣定着

食生活改善



私たちの会社は、自動車部品をはじめ電子電機部品を製造しているプラスチック部品の製造メーカーです。「企業を通じて社会に奉仕、企業を伸ばして豊かな暮らし」を社是として、社員一同日々努力を積み重ねています。社員の健康づくりの一環として、毎週月曜日に全員参加のラジオ体操、こばやし健幸ポイントへの参加、熱中症予防や生活習慣病予防、食生活改善などのポスターを掲示し、社員の健康づくりを積極的にサポートしています。

市内 24 の認定企業が従業員などの健康づくりに取り組んでいます

株式会社ミヤザキ、株式会社 F O R C U M、株式会社水耕舎、有限会社西日本ボーリング、小林商工会議所、サンキョーミート株式会社霧島ミートプラント、坂口建設株式会社、株式会社三共、有限会社キリコンディショニングカンパニー、J A みやざきこばやし地区本部、医療法人養気会池井病院、社会福祉法人小林市社会福祉協議会、えびの電子工業株式会社小林工場、株式会社小林青果市場、有限会社宮崎小林ファーム、アクサ生命保険株式会社都城営業所小林分室、有限会社宮内葬儀社、株式会社霧島商事、ハーメックのじり株式会社、社会福祉法人ときわ会、有限会社木佐貫鉄工所、株式会社ちからこぶ、株式会社大和合成宮崎、株式会社小林衛生公社

※令和7年3月現在
※掲載は認定順

各企業・団体の
取り組みなど





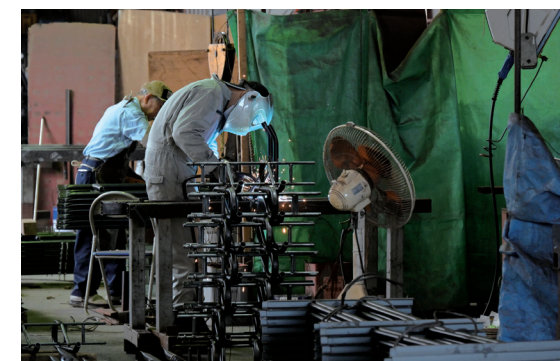
有限会社木佐貫鉄工所
宮崎県小林市南西方 5942 番地 13
TEL 0984-27-1444

私たちは、農畜産用器具、機材（豚・牛舎柵・備品加工等）の製造販売等を行っています。お客様のニーズに応じたオーダーメイドの商品（豚・牛舎柵・備品等）を製作しており、機械化による作業効率化や働き方改革を実施しています。職員の健康づくりとして健診受診率 100% を目指し、結果に応じてしっかりと保健指導を受けることを目標にしています。「安全第一」の資本は健康な体と考え、今後も健幸のまちづくりの理念に賛同し、取り組みを継続していきます。

健診受診率 100%

各種がん検診受診率向上

保健指導利用率向上





株式会社ちからこぶ
デイサービスセンターころ湯
宮崎県小林市南西方 1112 番地 141
TEL 0984-22-3450



私たちは、夷守岳の麓に位置し常に四季を感じることでできる通所介護事業所です。ころ湯では、地場産品を使ったおいしい食事、天然温泉のお風呂などを提供しながら「きゅも、おもてかたつ」と笑顔で言ってもらえるよう、日々利用者様の心と身体のケアに取り組んでいます。私たちも利用者様に負けられないように毎日 1 万歩を目標に歩いたり、運動施設に通いやすくなるよう手当を支給することで、従業員の運動習慣定着を図っています。

健診受診率 100%

運動機会増進・運動習慣定着

保健指導利用率向上



Information

今年もやります！

こばやし健幸ポイント

ウォーキングや健（検）診受診、健康づくりイベント参加などで貯まったポイントを景品と交換できる「こばやし健幸ポイント」。参加申し込みは 6 月以降に開始する予定です。また、10 月には企業や団体ごとに平均歩数を競う「企業対抗イベント」を開催予定。詳細は後日広報こばやしやホームページでお知らせします。

参加申し込みは
6 月以降に開始予定



認定企業からは、「従業員同士のコミュニケーションが増えた」「職場が明るくなった」など多くの反響をいただいています。各認定企業で取組内容はさまざまですが、無理のない範囲で取り組めることもこの制度の特徴です。そのほか、「こばやし健幸ポイント」にも多くの企業・団体が参加されていますので、従業員の皆さんの健康づくりの一環として、ぜひご利用ください！

皆さんは身体的・精神的に不調を感じたとき、どう対処していますか。方法は個人で異なりますが、共通するのは可能な限り健康であり続けたいという思いではないでしょうか。市では「人生 100 年時代」を見据えて市民総ぐるみでの「健幸のまちづくり」を推進していますが、「健幸づくり推進企業認定制度」は、主に 20 歳～60 歳の働く世代を対象とした健康づくりを支援する取り組みです。この年代は、さまざまな課題と向き合いながら自身の生活スタイルを確立し、健康寿命を伸ばす、人生において大切な時期になります。制度が開始されて 4 年が経ち、令和 7 年 3 月現在で 24 の認定企業が従業員の健康づくりに取り組まれています。

Interview

企業・団体の皆さん
一緒に健幸づくりに
取り組みませんか？

企画政策課
からしま じゅんや
辛島 潤也 課長

